



**伊勢志摩国立公園
横山集団施設地区における
利用者負担に関する
第1回検討会**

令和6年9月25日

本検討会の構成団体

<地元関係団体>

- 志摩市
- 志摩市観光協会
- 伊勢志摩国立公園 自然ふれあい推進協議会
- 志摩地中海村 ミラドル志摩
- 鷺方自治会
- 志摩市自治会連合会
- NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
- 三重県 みどり共生推進課
- 三重県 観光振興課

<事務局>

- 環境省 中部地方環境事務所
- 大日本ダイヤコンサルタント株式会社

本検討会の目的

本検討会の目的は、横山園地の現状を踏まえ、将来に渡り魅力を失わず、持続可能でより安全・安心に利用していただくために、利用者負担制度の導入に向けた検討を行うことを目的とします。

第1回検討会での検討内容

- ①横山園地における現状と課題
- ②安心・安全かつ快適で魅力的な園地運営に向けた方針と対策案
- ③持続可能な対策の実施に向けた検討

目次

横山園地における現状と課題

1. 伊勢志摩国立公園の概要	1
2. 横山展望台へのアクセス	2
3. 横山園地駐車場の概要	3
4. 横山展望台の来訪者数	5
5. 横山地区の運営・維持管理コストの推移	6
6. 交通渋滞の発生	7
7. 横山展望台までの園路における事故発生状況	8
8. 施設の劣化等	9
9. 運営・維持管理に必要な体制・財源不足のリスク	10

安全・安心かつ快適で魅力的な園地運営に向けた方針と対策案

10. 渋滞対策に関する検討会の実施（令和5年度）	11
11. 社会実験の実施	12
12. 横山園地運営における今後の方針	13
13. 横山地区の魅力の継続・発展に向けた対策（案）	14

持続可能な対策の実現に向けた検討

14. 利用者負担の導入に向けた検討	15
15. 利用者負担の導入により期待/想定される効果	16

横山園地における 現状と課題

1. 伊勢志摩国立公園の概要

伊勢志摩国立公園について

【テーマ】

悠久の歴史を刻む伊勢神宮、人々の営みと自然が織りなす里山里海

【国立公園への指定】

昭和21年11月20日（国内13番目、戦後最初）

【規模】

約6万ha（伊勢市、志摩市、鳥羽市、南伊勢町）

【特徴】

地形：リアス海岸やカルスト地形

資源：藻場（アマモ場等）や干潟

特産品：真珠やカキ等の海産物

景勝地：伊勢神宮、横山展望台、鳥羽展望台、見江島展望台



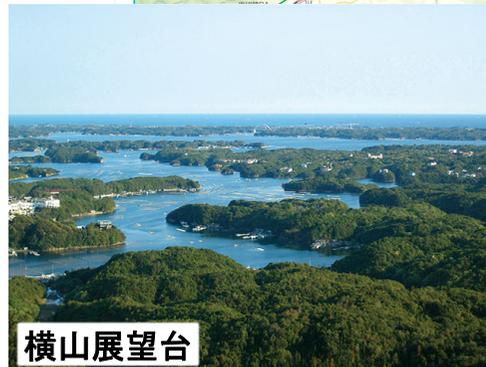
伊勢神宮



鳥羽展望台



見江島展望台

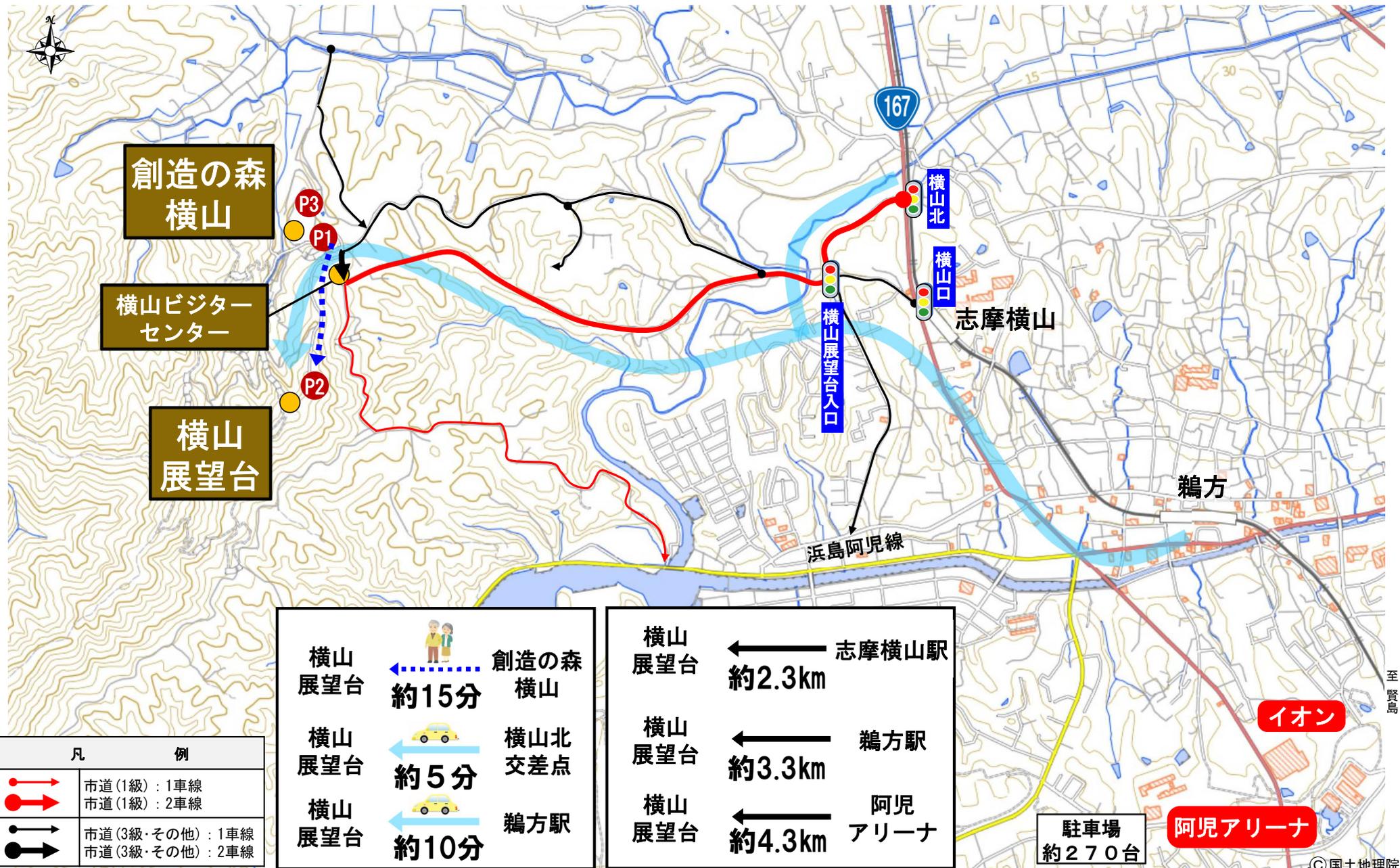


横山展望台



2. 横山展望台へのアクセス

- 横山展望台は、鵜方駅から自動車で約10分、横山北交差点から約5分。
- 国道167号から横山ビジターセンターまでは2車線の市道が整備済み。



3. 横山園地駐車場の概要

- 創造の森横山・駐車場（P 1、P 3）は、志摩市が所有する駐車場（無料）。
- 駐車台数は約100台、大型バスや車いす利用者等の専用スペースやサイクルスタンドを設置。
- P 3 及び山小屋裏の駐車スペースは未舗装。

創造の森横山・駐車場（P 1）

- 管理者・志摩市
- 無料
- 舗装
- 駐車台数：72台
(うち20台分は大型バス3台と併用)
 - ※ 大型バス専用有り
 - ※ 二輪車用無し
 - ※ 車いす利用者用スペース等(4台)
 - ※ サイクルスタンド有り
 - ※ 山小屋裏に数台程度駐車スペース有り



創造の森横山・駐車場（P 3）

- 管理者・志摩市
- 無料
- 未舗装
- 駐車台数：21台



3. 横山園地駐車場の概要

- 横山展望台・駐車場（P2）は、環境省が所有する駐車場（無料）。
- 駐車台数は28台であり、車いす利用者等の専用スペースに加えて、マイクロバス乗降場が設置。
- 車道（狭隘・待機スペースあり）と遊歩道（石畳の階段・斜路：約15分）。

横山展望台・駐車場（P2）

- 管理者・環境省
- 無料 ○舗装
- 駐車台数：28台

- ※軽自動車専用有り
- ※二輪車用、自転車用無し
- ※車いす利用者用スペース(2台)
- ※マイクロバス乗降場有り
- ※転回場有り



【参考】 休日における駐車場の需給バランス（R5年4月～6月）

参考）算定式：日本道路公団設計要領の算定式

駐車場の駐車マス数

= 前面交通量×立寄率×ラッシュ率÷回転率

= 来場車数×ラッシュ率÷回転率

= 836台×0.14÷0.67

= 175 (台)

約50台不足

駐車容量(P1～3合計)

= 121 (台)

※来場車数：土日祝の平均来訪者数 [1,497] ÷ 平均乗車人数 [1.79] = 836台

※平均乗車人数：平成27年全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数・休日／東海／乗用車／私事）より [1.79]

※ラッシュ率：国土交通省「道の駅」の駐車場に関する調査結果（小型車）より [0.14]

※回転率：平均駐車時間90分を想定し、60/90分 = [0.67]

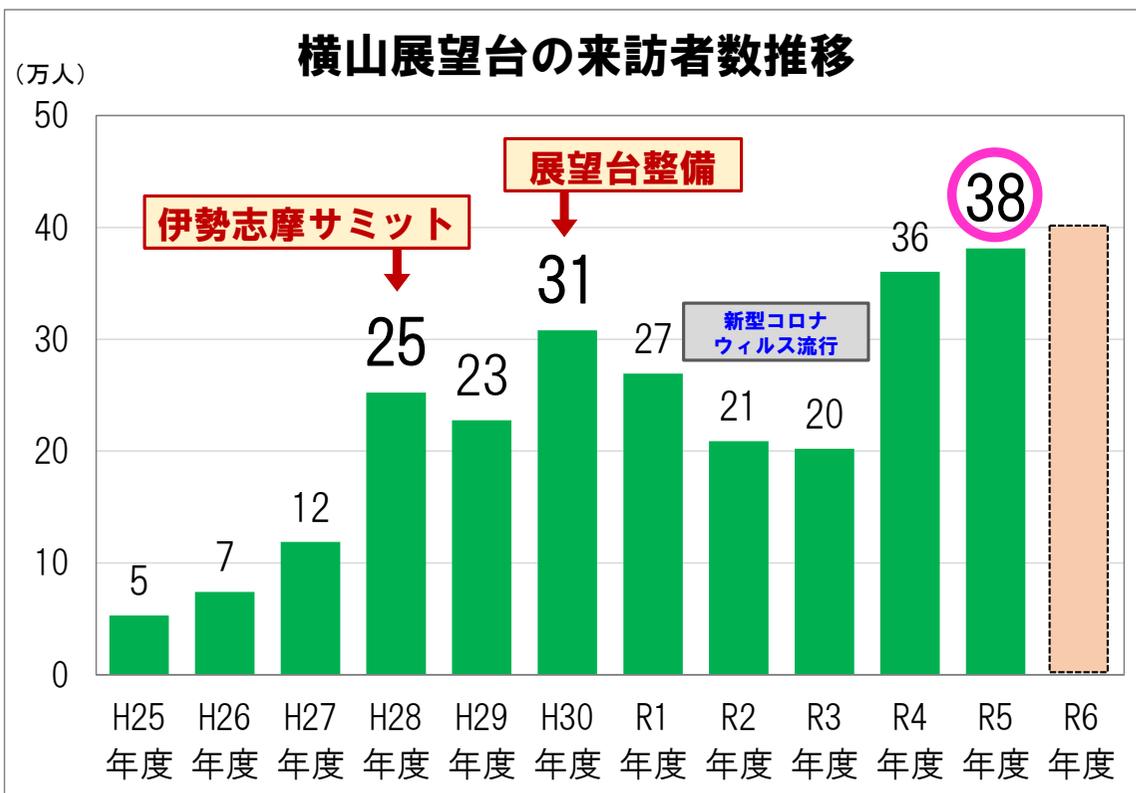
【渋滞発生要因の一つ】

来訪車両に対し、駐車マスが不足し、容量オーバーとなっている。

⇒ 立地条件上、駐車マス数を増加することは難しいため、需要コントロールが必要である。

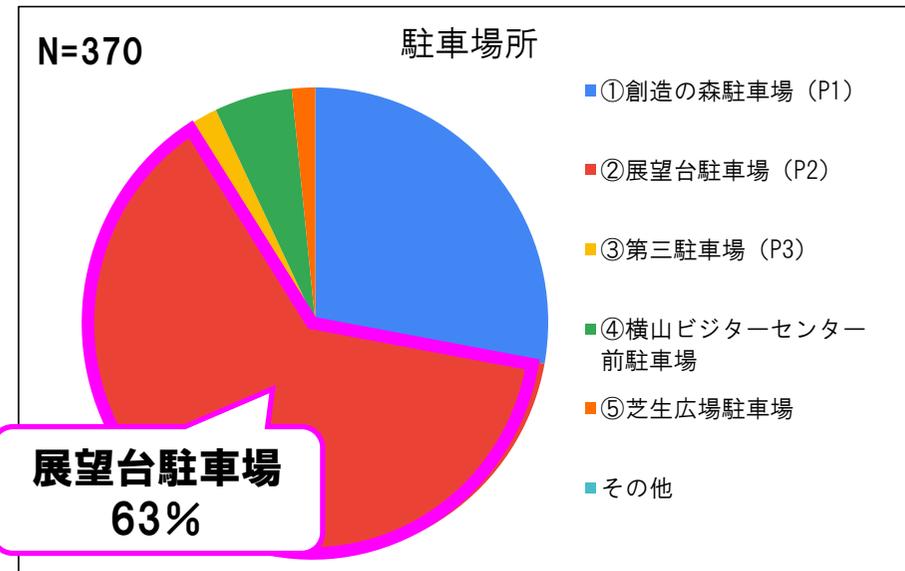
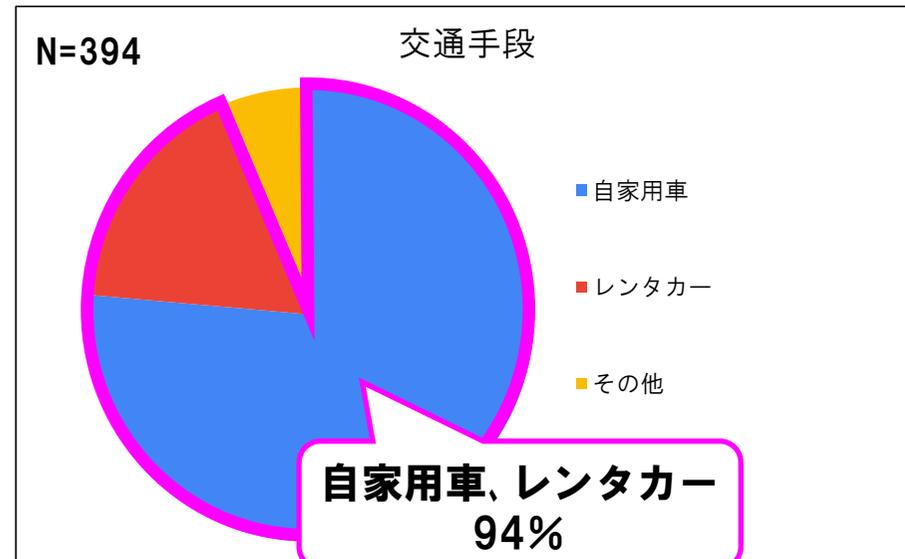
4. 横山展望台の来訪者数

- 年間来訪者数は、「伊勢志摩サミット・展望台整備」により増加し、「新型コロナウイルスの流行」により減少するものの、令和5年度は約38万人が来訪。
- 来訪者の9割以上が自動車・レンタカーで来訪し、そのうち6割以上が展望台駐車場に駐車。



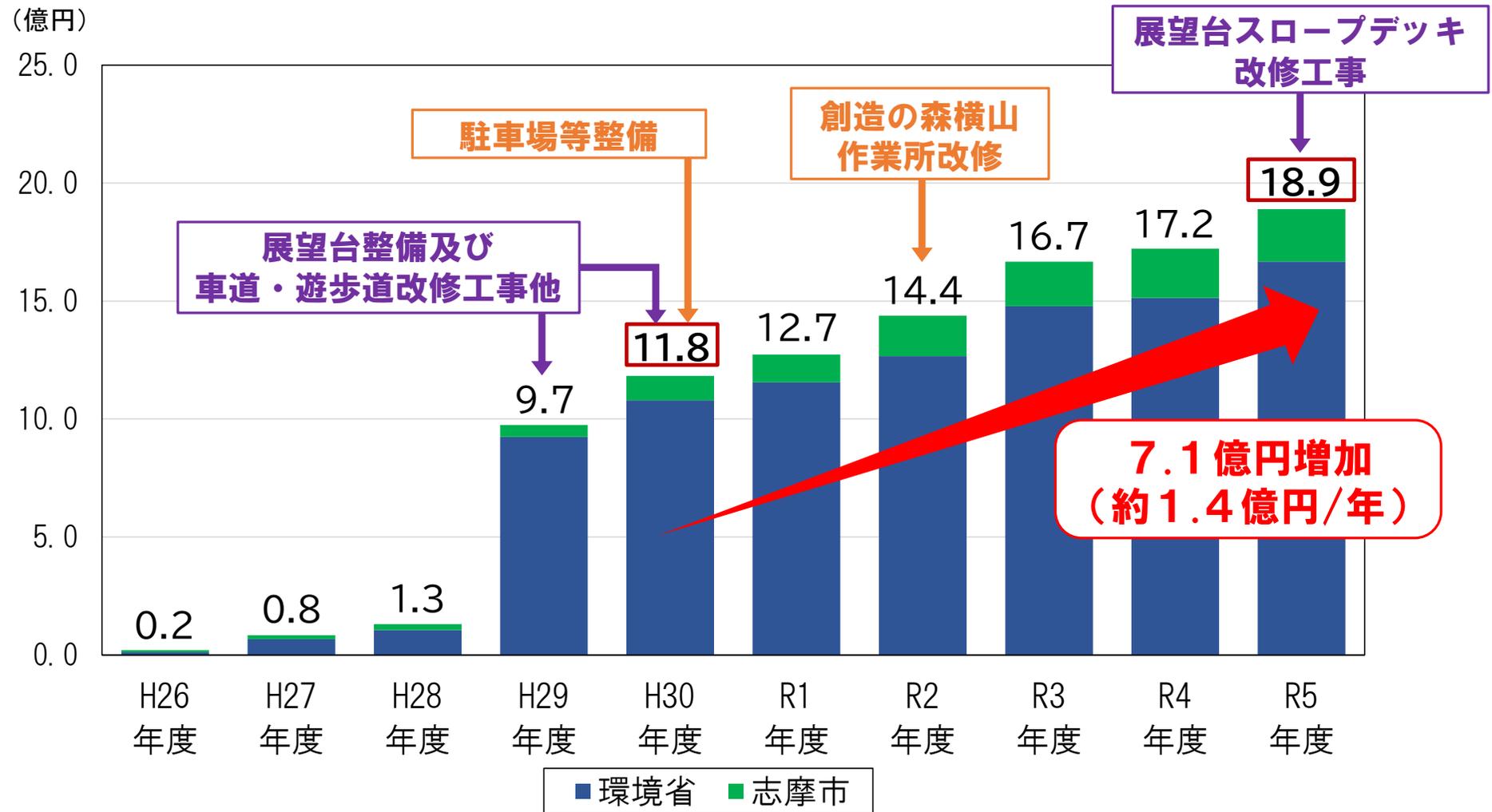
令和6年度は、**40万人**を超える見込み

令和5年度アンケート調査より



5. 横山園地の運営・維持管理コストの推移

- 平成29年度には、展望台整備等による大規模工事を実施したため、約8.4億円を投資。
- 展望台整備（平成30年度）以降、7.1億円を投資 ⇒年間で約1.4億円。



運営・維持管理コストの内訳

光熱水費、浄化槽清掃・管理、環境整備(危険木伐採・施設修繕等)、交通誘導員委託料、ふれあい推進協議会運営費用等

出入口や車両動線が
わかりにくい



狭隘で見通しが悪く走りにくい



車両の滞留(立ち往生)が発生

駐車マスの不足



駐車マス : 28台



二次交通(路線バス)
がない

横山志摩駅まで 2 km以上
鵜方駅まで 3 km以上

至 横山志摩駅
至 鵜方駅

急傾斜で歩きにくい



渋滞情報がない

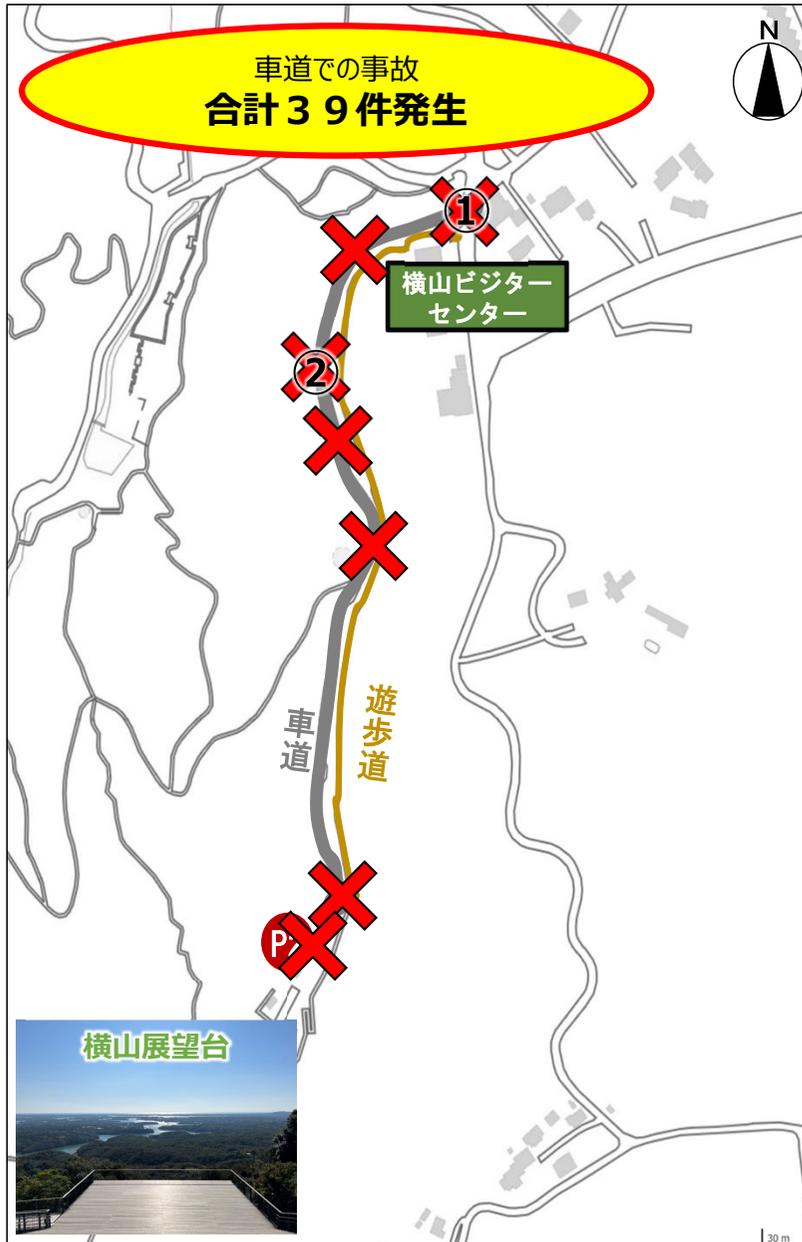
※アンケート調査自由意見より

- 渋滞すると知らなかった
- 渋滞情報や駐車場の状況を知りたい



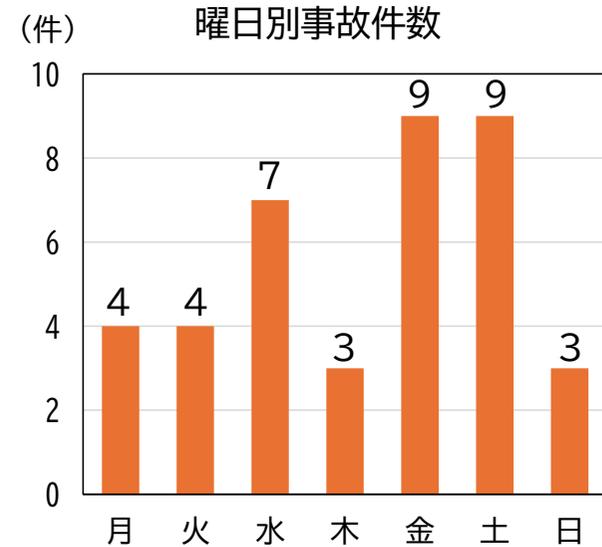
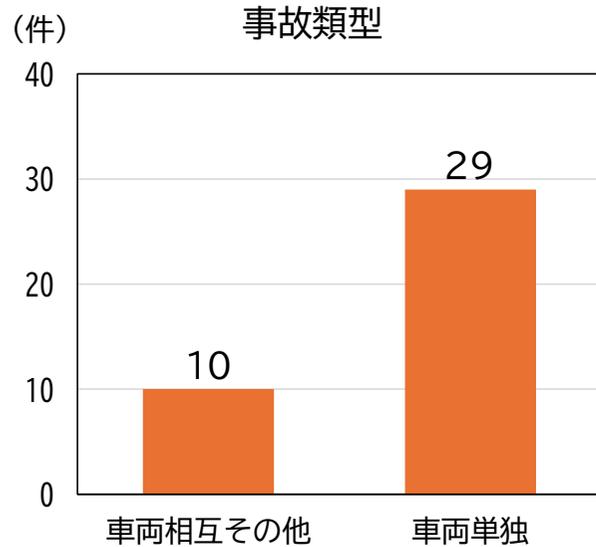
7. 横山展望台までの園路における事故発生状況

■事故発生箇所 (2019年～2024年5月)



■事故データ (2019年～2024年5月)

- 車道の狭さ、見通しの悪さによる車両事故が多い。
- 曜日別では、金・土曜日が最も多く、次いで水曜日。



狭隘で見通しが悪く走りにくい



出典：交通事故発生状況・防止対策レポート（出典元：鳥羽警察署）
※地理院地図を加工して作成

- 平成27年度以降、車道や遊歩道、展望台スロープデッキ、木道等で改修・補修を実施。
- 利用者数の増加に伴い、各施設の劣化が想定より早く進行すると予想される。

■ 横山施設地区の主な補修・修繕

年度	実施主体	内容
H27	環境省	横山VCトイレ等改修工事
		横山VC電気設備改修工事
R1	環境省	横山園地車道修繕
R2	環境省	横山VC改修工事
	志摩市	創造の森横山作業所改修工事
R3	環境省	横山園地舗装修繕工事
		横山園地公衆便所修繕
		横山VC等修繕工事
R4	環境省	横山VC風除室改修工事
		横山園地休憩所等施設修繕工事
	志摩市	遊歩道整備工事
R5	環境省	横山VC設備改修工事
		横山展望台スロープデッキ改修工事
	三重県	木道（階段・手摺）補修工事



横山展望台スロープデッキの劣化状況



木道（階段）の劣化状況

利用者数の増加に伴い劣化が想定より早く進行したことで、当初の予定より早く改修工事の実施が必要となった。

■横山展望台の運営・維持管理に関する課題 ※志摩市、ふれあい協議会へのヒアリング結果より

【問題点】

- 広大な敷地の維持管理（草刈りや樹木伐採等）に対して、委託先団体の高齢化や人手不足により、十分な施工ができていない。
- 物価や人件費単価の上昇を踏まえた**予算の見直し**が必要である。

【改善点】

- 渋滞対策に加え、**普段から維持管理しやすい施設**にして欲しい。
- **遊歩道を楽しく快適に歩くことができる工夫**が必要である。（バリアフリー化、スタンプラリーやポイ活等）

【利用者との関連性】

- 創造の森横山作業所にある自動販売機に関して、「**ゴミ箱が溢れている**」等の苦情が増加。
- 駐車場の舗装は、**利用者が増加することで当初計画より劣化の進行が早くなる**可能性がある。
- 利用者数が増加に伴い、ふれあい協議会職員の事務作業が**全体的に増えており、伊勢志摩国立公園を勉強する時間が取れない**。
- **交通誘導員、清掃管理やシャトルバス運行に必要な経費は、利用者が負担しても良いと思う**。

【今後の展開】

- 草刈り等を委託している団体が、**高齢化等により業務継続困難**となった場合、**委託先の変更に伴い委託料が増加**する可能性がある。
- **徒歩移動の促進に係るコンテンツや、特設サイトを開設した場合、運営経費が新たに発生**する。

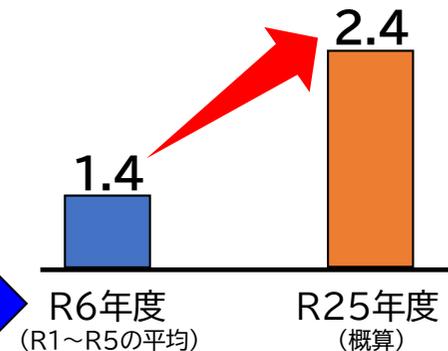
■物価、人件費増加に伴う運営・維持管理コストの将来イメージ

▼ 公共工事設計労務単価（国土交通省）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
造園工	21,300	21,700	21,900	23,000	23,600
交通誘導員A	14,400	14,800	14,900	15,500	16,800
交通誘導員B	12,400	12,800	12,800	13,200	13,900
平均	16,033	16,433	16,533	17,233	18,100

約13%増加
(約2.6%/年)

物価、人件費が
増加し続けると...



▲ 運営・維持管理コストの将来イメージ

20年後には運営・維持管理コストが
1.0億円増加する恐れがある

**安全・安心かつ快適で魅力的な
園地運営に向けた
方針と対策案**

第1回検討会

概要

- 横山展望台や各駐車場について課題を抽出
- 渋滞状況・利用特性、問題点から渋滞発生
の主な要因、渋滞発生シナリオを検討
- 制約条件や対策事例から渋滞対策の
基本方針の決定

渋滞対策の基本方針

- 観光シーズン（繁忙期）を対象とする
- 大規模な整備・改修を伴わないTDM（交通需要マネジメント）とする
- 社会実験等により効果や影響を検証し、関係機関との連携・調整を図り、安全性・地域振興も配慮する



検討会の様子

第2回検討会

概要

- アンケート結果等から、利用者特性や渋滞対策による行動変容を整理
- 横山駐車場の渋滞対策メニューを検討
- 渋滞対策に関する今後の取り組みを整理

渋滞対策メニュー

①時間の分散

- ⇒情報発信
- ⇒サービス付与



②場所（駐車場所）の分散

- ⇒駐車場の有料化
- ⇒シャトル輸送
- ⇒満空情報



③交通手段の分散

- ⇒レンタサイクルやタクシーの料金割引
- ⇒シャトルバス等の運行



社会実験ケース：横山展望台駐車場の有料化＋無料シャトルバス輸送

■概要

●実施期間

令和6年 **2月11日(日)**[建国記念の日]
2月12日(月)[振替休日]

●実施箇所

横山展望台駐車場・P2
 創造の森駐車場・P1

●実施内容

- 横山展望台駐車場の有料化：500円/回
 (対象2日間・9時～17時までに駐車した車両)
- P1⇔P2のシャトルバス輸送：無料
 (対象2日間・9時～17時まで)
- シャトルバス利用者及び展望台P利用者にアンケート調査を実施
- 利用台数調査



シャトルバスの利用状況

	2日間平均 [人/回]	2日間合計※ [人]
運行本数	-	上下各24便
横山展望台P行き	21.5	1,032
創造の森P行き	14.8	711

※ 2日間合計(人) = 2日間の平均乗車人数 × 便数
 (昼休憩等により、計測できていない時間帯があるため)

展望台駐車場の利用状況

	展望台Pの利用割合 [%]
12日	37.0
24日(参考)※	42.6

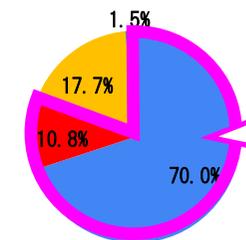
通常時より
 約6%減少

※ 社会実験時と同程度の条件から日程を選定
 来訪者数から利用割合を予測

アンケート結果

Q: 展望台駐車場(P2)の料金は500円で妥当か

N=130



妥当・概ね妥当
 8割以上

■ 妥当 ■ 概ね妥当
 ■ 妥当ではない ■ 未回答



シャトルバスの様子



駐車料金徴収の様子

横山園地の魅力を継続・発展させる3つの柱

安心・
安全の
確保

園地内の狭隘による**接触事故等**を防ぎ、誰もが**安心・安全で快適に**過ごせる園地を目指した対策を検討・実施

環境の
保全

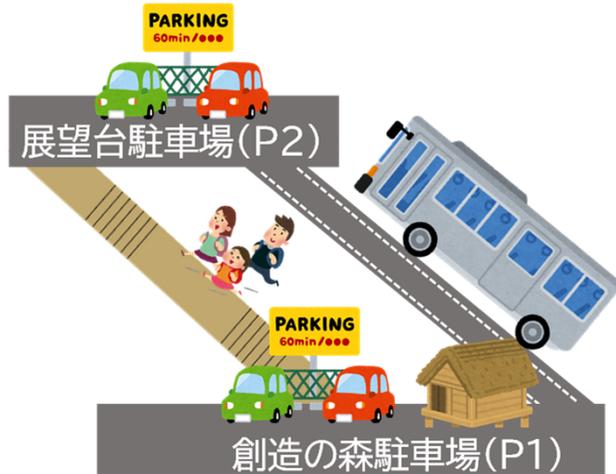
利用者の増加が環境の悪化に繋がらぬよう、また**持続可能な環境保全**への対策を検討・実施

利便性
の向上

園地内の**移動性・利便性の向上**へさらなる**バリアフリー**を目指したや車道・歩道の整備を検討・実施

持続可能な対策が必要

① シャトルバスの運行



② 混雑情報の見える化

The image shows a map of the Inuyama Castle area with three parking spots labeled P1, P2, and P3. P1 is located near the castle, P2 is near Inuyama Joen Station, and P3 is near Inuyama Station. To the right is a detailed information panel for 'P1 犬山城第1駐車場 (キャッスルパーキング)'.

空きあり	🚗 🚘 🚚
2024年9月5日 15時00分 現在	
場所	犬山市武運館北側 (犬山城まで徒歩約5分) マップで見る
台数	140台 (大型10台)
料金	<ul style="list-style-type: none"> ●普通車300円 (1時間) 特定日は500円 (1時間) 1日最大1,800円 (当日0:00-24:00) 特定日は3,000円 ※24:00を過ぎると料金加算されます ●大型/バス1,000円 (1時間) 特定日は1,500円 (1時間) 最大設定なし 令和6年度より、駐車場料金を特定日を設定します。特定日については、料金設定が異なりますのでご注意ください。 ●令和6年度の特定日は下記の通りです 11/2,3,4,9,10,16,17,23,24,30 12/1 1/1,2,3,4,5 3/20,22,23,29,30
営業時間	入庫8:30-21:00 (土日祝は8:00開場) 出庫24時間可能

※参考：(犬山城) 下町駐車場情報+混雑状況速報

③ 満空情報

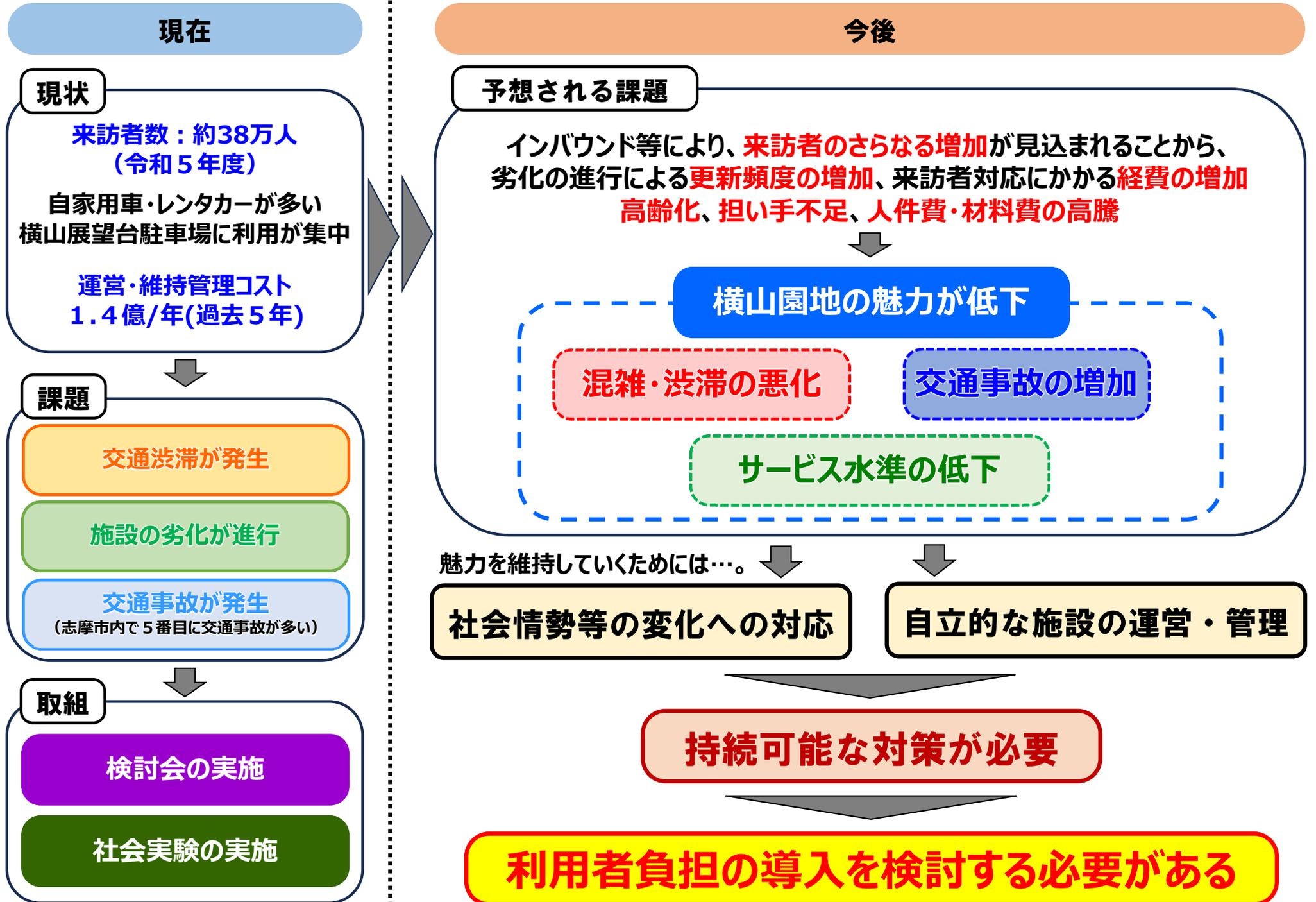


※参考：エムケー精工株式会社HP

④ 車道の改善



持続可能な対策の実現に向けた 検討



1. 国立公園の自然環境の保全

利用者から経費の一部負担の協力を得ることによって、**横山展望台の自然環境保全の活動が進められ**、希少な動植物が守られたり、より豊かな自然の恵みを地域にもたらすことができる。

2. 持続可能な利用に向けた資金の確保

車道や遊歩道の維持管理やトイレの改修、利用者への情報提供等に**必要な資金を確保**できることから、**持続的かつ快適・安全に楽しめるサービスを提供**できる。

3. 利用者自身の環境保全意識の向上

利用者に対して、収益の用途を積極的に公表することで、自らが環境保全に協力しているという意識啓発につながり、**環境保全意識を高める効果が期待**できる。

4. 利用者数抑制の可能性

利用者から一定の料金を徴収することで、**利用者数が抑制される可能性がある**。

※しかしながら、豊かな自然に親しむことは国民の基本的な権利の一つとも考えられ、高額な料金が課されることにより、それがいたずらに阻害されるようなことは避けなければならない